

【愛知県】ノリ漁場に飛来するカモを追い払うことができる技術

課題の背景

- ・近年、全国的にのり養殖における食害の多発が大きな問題となっており、生産量を押し下げる要因の一つとなっている。ノリを食害する生物は、ヒドリガモなどの鳥類とクロダイやボラなどの魚類とされており、このうちカモ類は夜間や明け方にノリ漁場に集団で飛来して、ノリを食害するとされている。
- ・生産者はのり養殖施設を防除網で覆うなどの対策を講じているが、防除網の敷設には多大な労力が必要であり、生産者の高齢化が進むなかで食害対策に人手をかけることが困難な生産者が多く、食害はのり養殖の大きな課題となっている。

課題のゴール

のり養殖場に飛来したカモを追い払い、生産者の防除に係る労力の軽減と、のり養殖業の生産量の増大を図る。人手をかけることなく効果的な方法（例えば、音や光を発生させながら定められた経路を自動で動く機械（ドローン等）などを想定）。

求められる要件（機能要求・関連基準等）

- ・夜間や明け方の生産者活動時間外で対応できるもの
（想定稼働時間：18時～20時、3時～5時、カモの一度の飛来数：数十～数百羽）
- ・海上等での継続的な使用に耐える耐久性を有すること
- ・住民及び海等の周辺環境に悪影響を及ぼさないこと
- ・法律に基づく必要な許認可がある場合にはクリアすること

協力事項

- ・効果試験の実施への協力（実証場所に係る情報の提供等）
- ・実施領域に係る情報の提供（海域データや想定検証場所）
- ・のり養殖業者の紹介（ヒアリングなど）
- ・効果が認められれば、漁業者への推奨
- ・取組内容の評価